

令和5年度第3回一関市立弥栄小学校運営支援協議会 会議録

- 1 会議名 令和5年度第3回一関市立弥栄小学校運営支援協議会
- 2 開催日時 令和6年2月26日(月) 午後4時01分から午後5時10分まで
- 3 開催場所 一関市立弥栄小学校 わくわくルーム
- 4 出席者
 - (1) 委員 熊谷佳美委員(会長)、千葉登美委員、金田清委員、
佐々木幸子委員、岩渕徳幸委員、
栃内宏之委員(本校校長:副会長)、渡邊肇委員
 - (2) 事務局 渡邊肇弥栄小学校副校長
- 5 議題
 - (1) 令和5年度の振り返り
 - (2) 令和6年度学校経営方針について
 - (3) その他
- 6 公開、非公開の別 公開
- 7 傍聴者 0人
- 8 熊谷佳美会長挨拶
忙しい中、集まってもらったので、忌憚のない意見を出し、実り多き会にしたい。
- 9 栃内宏之校長挨拶
本校への支援に感謝している。今年度の反省と委員のみなさんのご意見を令和6年度へつなげたい。
- 10 議事内容
 - (1) 令和5年度の振り返り
 - ア まなびフェストアンケート(2学期末に実施)の結果について
事務局からアンケート結果から見られる成果や課題、今度の方策について校内の各部会で協議したことについて説明を行った。以下、質疑応答等。
委員 家庭学習への取組について、児童と保護者の振り返りの結果に違いが見られる理由をどのように分析しているか。
事務局 評価基準に曖昧さがあるためと捉えている。次年度は、基準を明示する予定である。
委員 「発達段階に応じた家庭学習」とあるが、具体的にはどのような指導をしているか。

事務局 家庭学習には、教師が与える課題と児童が自分で考えて取り組む「一人勉強」があるが、学年が上がるにつれて「一人勉強」の割合が大きくなるように指導している。

委員 今年度実施したメディア研修会は、自分自身も大変勉強になった。次年度も、ぜひ実施して欲しい。

事務局 学校運営支援協議会の支援があって実現した研修会であり、感謝している。次年度の実施も、ぜひ検討したい。

イ 経営反省を受けて令和6年度課題として確認したことについて
事務局から、教職員による年度末の学校経営反省により、次年度の課題として確認した事項について説明を行った。以下、質疑応答等。

委員 「相手意識の向上」とあるが、空気を読む、忖度するといった方向にいくことで我慢を強いられ、いじめにつながることにならないようにして欲しい。

委員 相手に気を遣うあまり、個性が育ちにくくなるということもあるように思う。

事務局 相手をリスペクトするという気持ちを大切に育てていきたいと考えている。

ウ 第2回学校運営支援協議会でいただいたご意見について
前回の会議の中で、各委員より子ども達に望む姿、子ども達につけたい力として、出された意見を集約したものの確認を行った。質疑等なし。

(2) 令和6年度学校経営方針について

校長より資料に基づき説明を行った。以下、質疑応答等。

委員 働き方改革について、どのように推進しているか。

委員 教師の負担が減れば、児童の負担も減ると考えている。「ノー残業デー」を設けることで、強制的にでも従っているうちに意識が変わってくるということもある。

事務局 諸会議の精選や、要点を絞って協議を行うなどといった会議の持ち方の工夫、ICTの活用等の取組を行っている。

委員 タブレットや電子黒板といった新しいものが導入されると、新しく学ばなければいけないことも出てくる。ICTの活用が、働き方改革にはつながらない部分もあるのではないか。

委員 電子黒板については、企業での活用の仕方が参考になるかもしれない。

事務局 ねらいをしっかりと定め、有効に活用できるようにしていきたい。
質疑を経た後、委員から承認を得た。

(3) その他

令和6年度に関わり、委員の再任と新委員及び地域コーディネーターの適任者についての情報提供を依頼した。

11 担当課 一関市立弥栄小学校